

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

2025/5/17

競技監督

公式通知 No.4

ライダーズブリーフィング資料

1. ポスト配置、コースイン・ピットイン時の注意

1)

ポスト配置図



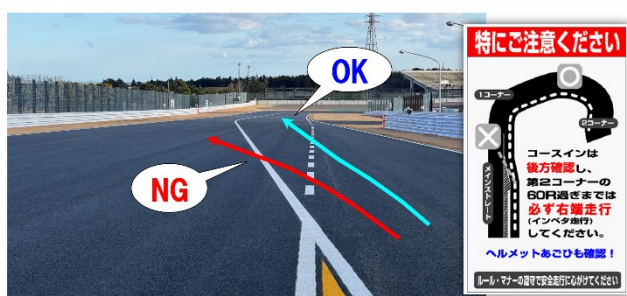
2)

ピット出口のシグナル表示



3)

コースイン方法について



4)

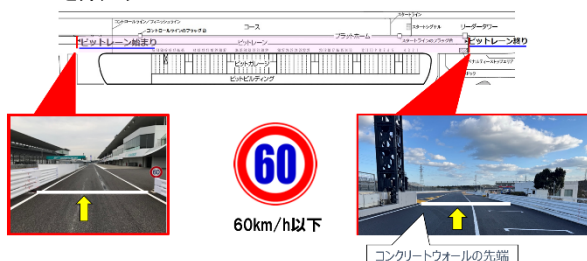
ピットイン時の注意



5)

ピットレーン制限速度について

・ピットレーン



特にピットレーン中間・出口でのスピード超過に注意

6)

スタート練習 «ピットレーン出口付近»



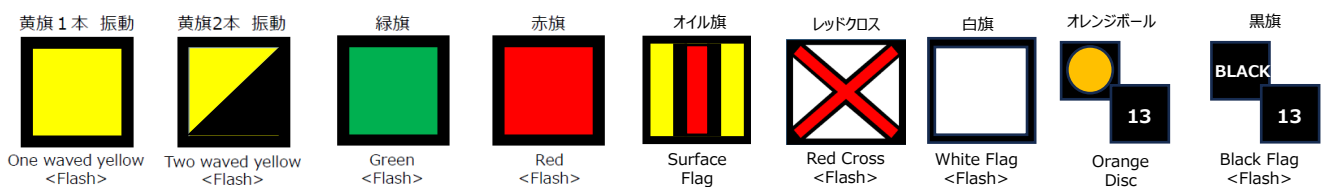
2. フラッグ等について

ライダーは、掲示されるフラッグ・ライトパネルを確認する義務がある。※違反した場合は罰則を科す。

ストレート上でもフラッグやボードの見落としがないように注意すること。

	【黄旗 1 本】 振動表示 表示ポスト前方でトラブルが発生。 減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。		【黄旗 2 本】 振動表示 表示ポスト前方コース上にトラブルが発生。減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。
■黄旗の基本的な出され方 コースの前方に転倒などの危険な状況が起きていることを知らせています。ポストでは黄旗を振動させて知らせますので、そのポストから追い越し禁止となります。最大限の注意を払いながら危険な状況が起きている地点を通過します。さらに、追い越し禁止は続き、緑旗が提示されるポストを過ぎたら追い越し禁止が解除されます。黄旗の振動に代わりに、イエローライトの点滅によって危険を知らせる場合もあります。			
	【赤旗】 走行中断。減速し、ピットに戻らなければならない。		【オイル旗】 雨以外の理由でコース上が滑りやすい状態の時、提示される。(オイル漏れ、落下物なども含む。)
	【チェッカー】 走行終了。速度を落とし、その周でピットインをすること。先頭でチェッカーを受けた車両が通過するタイミングでコントロールラインのフラッグ台(0番P)及びインフォメーションパネル(スタートライン上)の計2箇所までチェッカーを提示される。ダブルチェッカー防止のため、ストレート走行中でも必ずフラッグ台を確認し、見落とさないこと。※チェッカーフラッグ提示後、各ポストで黄旗が静止表示される。但し、トップライダー直前に未チェッカー車両が走行している場合は、提示を遅らす場合がある。		【オレンジボール+ゼッケンボード】 ピットまで戻らず速やかにコースアウトし、最寄りの安全な場所に車両を止めること。 ※大量のオイル漏れ等、危険を及ぼす恐れのある競技車両が発見された場合、即当該ライダーに警告するため、旗のみ表示を行う場合がある。
	【白旗】 救急車等の介入車両があり、この介入車両を追い越すまで他のライダーを追い越す事は禁止される。		【黒旗+ゼッケンボード】 当該車両は直ちにピットに戻り、オフィシャルの指示を受けること。
	【青旗】 後方よりベースの速い車両が接近し、追い越される場合に振動表示にて提示される。		【チェッカー+青旗】 ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップライダーの直前に他のライダーが走行している場合、トップのライダーはチェッカーを意味するが、直前を走るライダーにはもう1周することを示す。
	【緑旗】 コース規制の解除ならびに、提示ポストから黄旗の解除を示す。 レース以外の走行の1周目に各ポストで表示される。		【レッドクロス】 コース上のこの付近において、雨が降り始めたことを示す。 この雨が路面状況に影響を及ぼしている可能性もある。

・ライトパネルの表示例



3. 公式予選について

- 1) 予選方式は計時予選とし、走行時間は 15 分間とする。

4. 決勝レースについて

- 1) WET 宣言が出された場合、決勝レースは 1 周減算される。

2)

スタート前チェック

- ・スタート前チェックは時間厳守
- ・実施場所は、52番ピット付近
- ・タイムテーブル、スタート進行表にて時間を確認すること。
- ・完了していない場合、決勝レース参加は認められない。

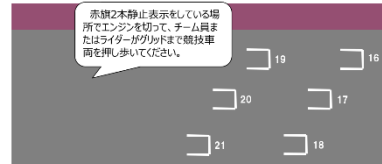
3)

サイティングラップからグリッド到着時について

サイティングラップ終了後にグリッドに戻ったライダーは、オフィシャルが赤旗2本を静止提示している場所で一旦停止し、ライダーはエンジンを切らなければならない。

その後ライダーまたはチーム員が押し歩くような速さで所定のグリッド位置につく。その際にライダーは降車しても乗車したまま移動しても良い。

※21番グリッドが最後尾グリッドだった場合



- 4) グリッドにおいてタイヤウォーマーのためのジェネレーターは使用できないが、余熱は使用可。

ただし、NEO STANDARD は余熱の使用も不可とする。

- 5) エアバッグは正常に作動するよう確実に装着すること。

- 6) 1 分前ボード提示時、押しがけの場合はエンジン始動後グリッドへ押し戻すこと。

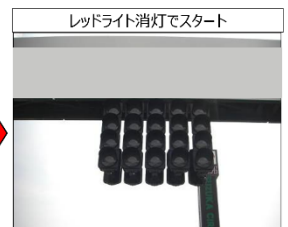
- 7) ウォームアップラップ開始は、スタートラインのフラッグ台(0.5 番 P)での、緑旗振動表示を合図とする。

この時、スタート練習は禁止とする。

ウォームアップラップ開始の合図



ウォームアップラップ後のレーススタート



- 8) ピットインロード入口までにオフィシャルカーの前に入らなかったライダーは、ピットインを行い、ピットスタートすること。

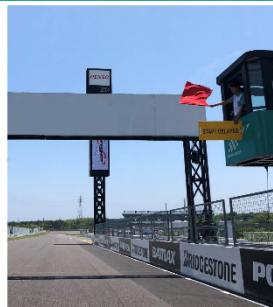
- 9) 誤ったグリッドにつき、自力で正規グリッドに戻れないときにはスタートデイレイドとする場合がある。

決勝レーススタートのデイレイド

《決勝レーススタートのデイレイド》

スタートラインのフラッグ台で「START DELAYED」のボードと赤旗が提示される。

- 1) エンジンは停止させない。
- 2) スタート手順は30秒前から再開され、追加のウォームアップラップを1周行い、レースは1 周減算となる。
- 3) スタートデイレイドの原因となったライダーとマシンはピットボックス前作業エリアに戻される。追加のウォームアップラップへの参加は可能であるが、ピットインを行い、レースはピットスタートすること。
- 4) 速やかなスタート手順の再開が難しいと判断された場合は、スタートラインのフラッグ台から「エンジンストップボード」が提示され、全車ピット前作業エリアに戻される。この場合、再開手順はクイックスタートで行われる。



スタート違反

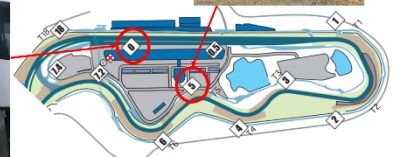
「タイム加算」ペナルティ

その他、シグナルブリッジのインフォメーションパネルでも表示

0番ポスト
(コントロールラインのフラッグ台)



5番ポスト



5. スタートについて

- 1) レッドライト消灯後にエンジンがストールした場合、トラブルに見舞われたライダーはエンジン始動を試みる行為をせず、モーターサイクルにまたがったままの状態、腕を上げ後続車両にアピールしなければならない。
オフィシャルの指示に従ってマシンをピット作業エリアに押して行かなければならない。
【MFJ 国内競技規則 付則 4 18-4-10-3】
- 2) セルスターターが装着されている車両の場合でも、エンジン始動出来ない場合は同様の扱いとする。
- 3) ピット作業エリアでは当該ライダーのメカニックがエンジンを始動させるために援助することが許可され、ピットスタートとなる。

6. 赤旗中断されたレースの再スタートについて

競技結果が 2/3 未満の場合の再スタートについては、下記手順（クイックリスタート）にて進行される。

- 1) 赤旗中断によりライダーがピットイン後、競技監督よりサイティングラップスタート時刻が発表される。
※NEO STANDARD の再スタート時のライダーは、赤旗で中断した際乗車していたライダーとする。
※赤旗提示時にピットレーンにいた車両についてはピットインしていたとみなされ、
ライダー交代（腕章の付け替え）が認められる。
- 2) サイティングラップ開始
ピットレーン出口はサイティングラップ開始から約 30 秒間解放される。サイティングラップに参加できないライダーは、ピットレーンからウォームアップラップを開始し正規のグリッドにつくことができる。
但し、車両を押してグリッドに移動することは認められない。また、ライダー 1 名につき
1 名のピットクルー（工具を持たず）がグリッド位置を教えるために立ち入りすることは許可される。
- 3) ウォームアップラップ 30 秒前ボードが提示される。この時点でグリッドへ着いていないライダーはピットレーンよりウォームアップラップを開始する。
- 4) 以降通常のスタート手順

7. NEO STANDARD クラスについて

- 1) 走行中は必ず右上腕部に腕章を着用すること。（第 1 ライダー：青色 第 2 ライダー：黄色）
1 名で参加する場合はスタート時に青色を着用し、ピットインの際に黄色に付け替えること。
腕章をふたつ付けての走行は認められない。
- 2) 全てのチームはライダーの登録数に関わらず必ず 1 度はピットインをし、ライダー腕章を付け替えなければならない。
その際必ずエンジンを停止すること。2 人で参加するチームはライダー交代をもってライダー腕章を付け替えたとみなす。
- 3) **スタートライダーのピットインは先頭車両の残り周回数 3 周までに完了すること。**
ライダー交代のためにピットインしたピットレーン上のコントロールラインで規定の時点を迎えてはならない。
例) 東コース : 先頭車両が 21 周回を完了し 22 周回に入る時点まで
フルコース : 先頭車両が 9 周回を完了し 10 周回に入る時点まで

NEO STANDARD クラス 国際ライダー登録チームのハンディキャップについて

- 1) 決勝レースにおいて、国内ライセンス以下のライダーを走行させなかった場合は、失格とする。
- 2) 規則に定められたライダー交代（ピットイン）を行う際、コントロールタワー前を通過してからピットレーン出口を通過し再コースインするまで、最低 2 分以上留まらなければならない。

NEO STANDARD クラス 上位入賞エントラントのハンディキャップについて

- 1) 第 2 戦以降、前戦の結果に基づき、各クラス 1 位のエントラントに対しハンディキャップを科す。
1 位：次大会 ライドスルー（決勝レースにおいて）
※ハンディキャップはレース終了 3 周前までに完了すること。（例：12 周決勝終了の場合、9 周完了時点まで）



2) ハンディキャップはエントラントに対して科すものとする。

ハンディキャップは先頭車両の残り周回数 3 周までに完了すること。

ハンディキャップ消化のためにピットインしたピットレーン上のコントロールラインで規定の時点を迎えてはならない。

例) 東コース : 先頭車両が 21 周回を完了し 22 周回に入る時点まで

フルコース : 先頭車両が 9 周回を完了し 10 周回に入る時点まで

3) レース終了時点(赤旗レース終了時も含む)でハンディキャップが消化されていない場合、競技結果に対して以下のタイム加算を科す。

東コース開催時: 60 秒加算

フルコース開催時: 120 秒加算

8. 決勝レース後について

1) 鈴鹿サーキットレーシングコースにおけるコントロールライン/フィニッシュラインは右図に示す基準線とする。

9. 決勝レース後について

- 1) 上位ライダーは車両保管を行う。車両保管場所の車検場までオフィシャルが誘導する。
- 2) 表彰式は全レース終了後、ポディウムにて行う。



10. 走行にあたっての注意事項

- 1) スロー走行を余儀なくされた場合、レコードラインを避け、後方に注意し、極力右側を走行すること。
- 2) 重大なマシントラブル発生時、速やかにコース外グリーン奥の安全な場所へマシンを止めること。
- 3) 転倒したらすぐに安全な場所へ退避すること。負傷で退避が困難な場合、大きくアピールすること。
- 4) 可能な限り、オフィシャルの車両撤去に協力すること。
- 5) 転倒、オーバーラン後のコース復帰時は、必ず後方確認を行うこと。
- 6) エンジントラブルや転倒車が出したオイルにより、後続車を巻き込んだ重大事故が発生しているため、オイル旗提示時は路面状況を確認すること。
- 7) 他の車両を追い越す際は、接触のないようにすること。
基本的にレコードラインを走行する者に優先権があり、抜く側は追い越しのリスクを認識しておくこと。
① 追い越した後、レコードラインに戻る際は、抜いた車両のスペースを意識しておくこと。
② 走行ラインを譲る際は、追突事故の原因となる為、急なライン変更や急減速をしないこと。

11. 使用燃料について

- 1) 各銘柄のガソリンを混ぜて使用してはならない。前回使用したガソリンが混ざることのないよう注意すること。

12. その他

- 1) 天候の急変等で、走行スケジュールを変更する場合があります、場内放送等に気をつけること。
また予備のガソリンや工具等は、予めピット前に準備しておくこと。
- 2) 走行時には、必ず車検に合格・登録したヘルメットを使用すること。※複数個登録することもできる。
- 3) 車両整備は、オイル漏れやカウルの脱落など車両トラブルがないように徹底して行うこと。
※オイルをコース上に撒いた当該ライダーおよびエントラントに対しては罰則を科す。
- 4) ヘルメットやリムーバーのあご紐、レーシングスーツ、ブーツのファスナー等は完全に閉めること。
- 5) エアバッグ装着義務者は走行中の転倒等でエアバッグが展開した場合、
MFJ 国内競技規則付則 4 10-2-1-7 2) に基づいた運用とする。

以上